

道徳学習指導案

指導者名 (T1)
(T2)

- 1 日 時 平成28年11月18日(金)
- 2 学 級 第2学年1組 男子12名 女子13名 計25名
- 3 主 題 名 B-(8) 友情, 信頼
- 4 本時のねらい

ライバルである雄一に嫉妬心を抱きながらも切磋琢磨する拓也の心情を考えることを通して、真の友情の在り方に気づき、心からの信頼関係を築こうとする心情を養う。

- 5 資 料 名 拓也と雄一(出典:「心豊かでたくましい呉の子どもをはぐむ道徳 第3集」呉市教育委員会 改作)
- 6 主題設定の理由

○ 主題観・価値観

本主題は、B・(8)「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。」をもとに設定した。友情は、互いに支え、競い合い、高め合うことによって深まるものである。自我の芽生えてくる中学生の時期は、心から信頼できる友達を求め、友達への期待も強まると同時に、ささいなことで衝突したり、衝突を恐れて一定の距離をとった関係しか持たないなど、友人関係も複雑になってくる。友達であるからこそ悩みや葛藤も生じるのであり、ともにそれを乗り越えることで、真の友情は培われていくということに気づかせたい。

○ 生徒観

本校は、二校の小学校出身の生徒が在学しており、生徒同士は小学校もしくはそれ以前からのよく知った間柄である。全体的に穏やかな人間関係を築いており、男女の仲も良く、班活動なども活発に行うことができる。

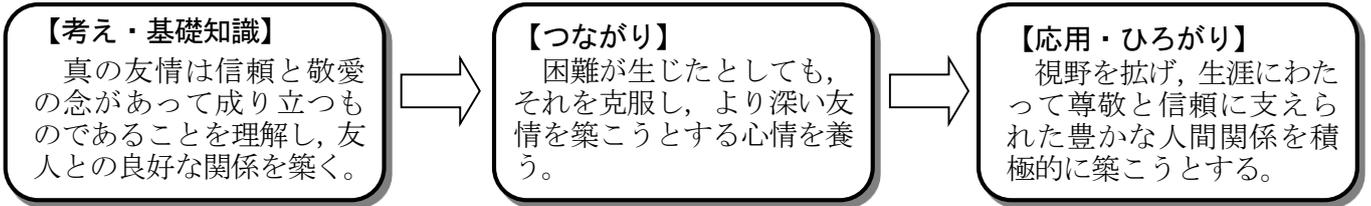
事前アンケートの「あなたには『真の友情』だと言える友だちはいますか。」という項目については、90.5%の生徒が「はい」と回答している。「あなたは身近にライバルがいますか。」という項目については、「はい」と回答した生徒は64.3%である。一方、35.7%の生徒は、級友と仲良く学校生活を送ることはできていても、切磋琢磨し合い、お互いを高め合う関係にまでは至っていないことがうかがえる。また、ライバルを「敵」「友だち」「自分と似た人」などと捉えている生徒も数名いた。心身の成長の著しい中学生の時期に、お互いを尊重し、高め合うことのできる友情を築くことのすばらしさに気づかせたい。

○ 資料観・指導観

本資料は、主人公の拓也が、バスケットボール部に所属し、ライバルである雄一に嫉妬心を抱きながらも、純粋に自分を応援してくれる雄一の姿を通して、互いの存在の尊さに気づくという内容である。雄一に対して様々な思いを抱く拓也の心の変容に寄り添うことで、友情とは単に親しくするだけでなく、時には嫉妬したり、悩んだり葛藤したりしながらも、それらを乗り越え、心の内を語り合える信頼関係を築くことの大切さを実感できる資料である。

指導にあたっては、班で意見を交流させながら、交代を命じられた拓也の複雑な心情を捉えさせる。その際に、T1、T2が机間指導を行い、拓也の心情の変化を捉えさせるとともに、切り返しの発問を行い活発に意見交流ができるよう支援する。終末では、ICT教材を活用し、オリンピック選手の実話を紹介することで、実践意欲が高まるようにする。

7 「主体的な学び」を意識した指導計画



本時で真の友情の在り方について理解を深め、日々の学校生活や修学旅行等の行事を通じて、互いに信頼し尊敬できる人間関係を築かせる。

8 学習指導過程

| 段階 | 学習活動 | 指導上の留意事項 (◇) (主な発問 (○), 中心発問 (◎), 予想される生徒の反応 (・)) | 指導形態 | | 評価 (評価方法) |
|----|--|--|----------------|------------|---|
| | | | T1 | T2 | |
| 導入 | 1 課題意識をもつ。 ・事前アンケートの結果をもとに話し合う。 | ◇事前アンケートの結果を紹介する。 ○その友人とけんかをしたり仲が悪くなったりした経験はありますか。 ○真の友情に必要なものは何だと思えますか。 | 補助 発問 | 発問 板書 | 自身の友人関係を想起し、真の友情に必要なものは何かを考えることで、課題意識をもつことができる。 |
| | 真の友情とは何だろう。 | | | | |
| 展開 | 2 資料「拓也と雄一」前半を読んで話し合う。 | ◇T1, T2で役割分担しながら範読する。 | 範読 | 範読 | |
| | ○親友だった二人の間に微妙な亀裂が生じ始めたのはなぜだろう。 ・バスケも勉強も自分よりできる雄一へ嫉妬するようになったから。 ・自分からレギュラーの座を奪った雄一を敵視するようになったから。 | | 発問 | 板書 補助発問 | |
| | ◇「それで本当に親友と言えるのか？」と切り返すことで、課題意識を深める。 | | | | |
| | 3 資料「拓也と雄一」後半を読んで話し合う。 | | 範読 | 範読 | |
| 開 | ◎雄一との交代を命じられた拓也はどんな気持ちだっただろう。 ・自分もがんばってきたのに、何で雄一が…という悔しさ。 ・自分を応援してくれた雄一のように、自分も雄一を応援したいという気持ち。 ・嫉妬もあるが、自分のためにアドバイスをくれたりした雄一への尊敬の思いもあるので、雄一にも試合に出てほしい。 | | 発問 補助 発問 | 板書 補助発問 | |
| | ◇ワークシートに書いた自分の考えをもとに、班で交流する。 | | | | |

| | | | | | |
|----|---|---|----|----|--|
| | | ◇T1, T2 が机間指導を行い, 切り返し発問を行う。 ◇メモをもらった際の拓也の気持ちの変容を捉えさせる。 | | | |
| | | ◎真の友情に必要なものは何だろう。 ・信頼 ・尊敬 ・相手を思いやる気持ち | 発問 | | |
| | 4 本時のまとめをする。 | ◇班交流にてホワイトボードにキーワードを書かせ, 理由とともに発表させる。 ○自分自身のこれまでの生活と重ねながら, 授業を通して, 友情について考えたことを書きましょう。 | 発問 | | |
| | 生徒のまとめ例 ・今日の授業で, ライバルや仲間の大切さが改めてわかりました。友だちとの関係で悩んだりすることもあったけど, 互いに尊敬でき, 切磋琢磨できる関係を目指して, これからも友だちとよりよい信頼関係を築いていきたいです。 | | | | 資料をもとに考えた「友情」を踏まえて, 自分自身の友人関係や友情について想起させることで, ねらいとする道徳的価値について自分との関わりでしっかりと考えることができる。 |
| 終末 | 5 動画を視聴する。 | ◇オリンピック選手の話モデルとして挙げることで, 日常生活での実践意欲が高まるようにする。 | | 説話 | ・真の友情の在り方について考え, 互いに高め合える友人関係を築こうとしている。(発言, ワークシート) 応用やひろがりを意識した説話を行う。 |

9 板書計画

| | | | | | | | | |
|---------|------|---|--------|--|--------|----------------|------|----------------------------------|
| ホワイトボード | 真の友情 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分も頑張ってきたのに何で雄一が… ・くやしい ・雄一を応援したい↑雄一も応援してくれた ・雄一↑尊敬 試合に出てほしい | 雄一イラスト | <ul style="list-style-type: none"> ・嫉妬 ・レギュラー奪われた ↓敵視 | 拓也イラスト | <h3>拓也と雄一</h3> | 真の友情 | お互いを大切に思う気持ち 思いやり 一緒にいて楽しい |
|---------|------|---|--------|--|--------|----------------|------|----------------------------------|